

ストラスクライド大学とジャパンマリンユナイテッド株式会社、
洋上再生可能エネルギー分野で協力体制を構築

University of Strathclyde（以下「ストラスクライド大学」）とジャパンマリンユナイテッド株式会社（以下「JMU」）は、海事工学および洋上再生可能エネルギー分野における協力を目的とした基本協定書（以下「MoU」）を締結しました。本 MoU は、洋上再生可能エネルギー分野における技術革新を重点領域とし、研究、教育、継続的専門能力開発（CPD）、政策・実務における協働体制の構築を規定しています。

本パートナーシップにおいて、ストラスクライド大学の高度な研究力と、JMU が有する産業界における豊富な知見・技術力を結びつけ、初期の共同研究テーマとして浮体式洋上風力発電における標準化および量産化に向けた取り組みを実施します。

ストラスクライド大学と JMU は、本 MoU に基づき相互の専門分野やニーズに対する理解を深め、関係者間の連携を促進するとともに、共同研究ネットワークの構築を推進します。また、共同セミナー、ワークショップ、講義など、教育・人材育成分野における協力の可能性も視野に入れていきます。

ストラスクライド大学 海事建築・海洋工学科（NAOME）の Maurizio Collu 教授のコメント

“By combining the strengths of our two organisations through this new partnership we can help address some of the key technical and manufacturing challenges facing floating offshore wind, particularly around standardisation and scalability, which are critical to accelerating deployment at pace.”

JMU 洋上風力プロジェクト部 浮体技術グループ長 吉本 治樹のコメント

「浮体式洋上風力の導入に向けて世界的に先行する英国において、ストラスクライド大学と連携できることを大変心強く感じています。同大学の高度な解析能力と、JMU が培ってきた海洋構造物の設計・建造技術を組み合わせることで、FOWT の信頼性向上や設計合理化につながる実践的な知見を創出できると期待しています。

■ ストラスクライド大学について

ストラスクライド大学は、スコットランド・グラスゴーに位置する工科大学。風力エネルギー研究の国際的拠点として知られ、風車および風力発電所の制御、システム最適化、洋上風力工学など幅広い分野で研究を展開しています。また、学際的チームによる産業界との連携を通じ、風力発電の性能・信頼性・統合性を向上させる技術開発を推進しています。

■ ジャパン マリンユナイテッド株式会社について

ジャパン マリンユナイテッド株式会社は、日本を代表する造船会社として、1999 年より浮体式洋上風力技術の開発に取り組んでおり、この分野の発展に継続的に貢献しています。現在、JMU 独自設計浮体「Jade Wind」を用いて大型の風力発電機を設置するプロジェクトが計画されており、浮体式洋上風力の商業化に向けた大きな一歩となることが期待されています。

[写真] 左: NAOME の Maurizio Collu 教授 右: JMU 浮体技術グループ長 吉本 治樹

